

愛知教育大学 未来共創プラン 未来の教育を共に創る

愛知教育大学は、
子どもと共に、
学生と共に、
社会と共に、
附属学校園と共に、
未来の教育を創ります。

VISION



『未来の教育』を考える上では、これからの未来を担う子どもたちをはじめとしたさまざまなステークホルダーの声を受けとめ、開かれた大学として共に前進していくことが不可欠であると考え、ビジョンに明記しました。

HPはこちら



3つの目標と9つの戦略

愛知教育大学のビジョンの実現に向けて、重点的に取り組む道筋を3つの目標として掲げ、目標を達成するために具体的な行動の方針として9つの戦略を立てました。

目標1

子どもや学生、社会との対話や協働を通して、現代的教育課題の解決に貢献し、より質の高い教員及び教育支援専門職の養成を実現します。

戦略1 「子どもキャンパスプロジェクト」

大学及びその周辺地域を「学び」と「遊び」を一体化できるエリアとして、実践フィールドと実践プログラムを提供します。

戦略2 「教育のプラットフォーム構築プロジェクト」

教育リソースデータバンクを設置し、教育現場の課題解決に貢献する教育のプラットフォームを構築します。

戦略3 「教職の魅力共創プロジェクト」

よりよい教育の未来につながる教職の魅力を共に創り出し、発信します。

戦略4 「グローバル化推進プロジェクト」

協定校を始めとする海外の教育機関との連携を密にして、グローバル化に対応したプログラムを学部と大学院で整備します。

目標2

大学と附属学校園との連携強化を図ることで、より質の高い教員研修を実現します。

戦略5 「共創的探究活動指導力育成プロジェクト」

附属学校園と教職大学院との連携を強化し、教育の実践的研究拠点を構築します。

戦略6 「大学・附属学校園連携推進プロジェクト」

教育委員会や教育現場等との緊密な連携を通して、附属学校園が今後の公立学校等のモデルとなる実証研究に取り組みます。

目標3

広域拠点型教員養成系大学としての意義と価値を高めます。

戦略7 「教科横断探究プロジェクト」

教科等横断し、協働的に学び合う次世代型プログラムを開発するとともに、教育効果を客観的に検証する評価システムを構築し、学生の資質向上や大学の授業改善につなげます。

戦略8 「IR部門・教職協働プロジェクト」

IR部門を活用して得られた学内外の客観的なデータに基づき、戦略的な大学運営を行うとともに、教職員が協働して柔軟な組織運営を行います。

戦略9 「大学間ネットワークの構築」

国公立大学と連携協定を締結して、教職大学院を核としたネットワークを構築します。



戦略1

子どもキャンパスプロジェクト



主な活動内容

- 「学び」と「遊び」が一体化したエリアへと転換する。
- 学生・教職員・地域の協働で多様な興味関心を広げる機会を増やす。
- 遠足や校外学習等の新たな目的地としての提案をする。
- 大学に自生している竹を使ったアクティビティの創出と関連した体験的な教科学習を行う。
- 本学のリソースの再発見と有効活用、課題解決を推進する。



近隣の小学生を大学に呼んで学生と教職員が作成したプログラムを楽しんでもらう第5回「あつまれ！子どもキャンパス」を開催しました。小学生255人と大学から216人(学生・附属高校生合わせて197人と教職員19人)の計471人(保護者の方を除く)が参加しました。

本学附属岡崎小学校の4年生87人が遠足で「大切な人に「思い」を伝えよう！」「あいきょう大きいものがさし隊」「ひとりのできるもん！ Textile編」「いろいろな音に触れてみよう！」「プログラミングでおそうじロボットを動かそう！」「フットホッケーに挑戦しよう！」「カードゲームであそぼう！」「図書館ツアー」を体験しました。



本学附属高等学校の教員と生徒が中心となって「高校生と学ぼう、水の事故から自分を守る方法を学ぼう」を実施し、小学生25人が参加しました。水の事故や海外での水泳の授業の様子などを学び、大学のプールでは小学生と高校生・大学生が2人組になり、さまざまな物の浮力を使って体を浮かせる練習をしました。

戦略3

教職の魅力共創プロジェクト



主な活動内容

- 「教職の魅力共創シンポジウム」を通して、多様な立場の方々との意見交換を行う。
- 教職の魅力を伝えるリーフレットや動画コンテンツを作成する。
- 多様な立場の方々から原稿を募集し、シリーズ叢書「教職の魅力共創」を刊行することで、地域社会と共によりよい教育の未来につながる教職の魅力を共創する。



ベネッセコーポレーション「未来の教育を考える会」との共催でシンポジウム「新たな学び・学校のかたち-対話的・協働的な学びを共に創る-」を開催しました。

多様な観点や立場から、教職の魅力を語っていただく動画を公開しています。あなたにとっての魅力やロールモデルになる先生が見つければと思います。



多様なステークホルダーが「教職の魅力共創」を共に高め、創り、共有していけるような場として、叢書を刊行しました。2024年度は7号と8号を発行しました。



戦略2

教育のプラットフォーム構築プロジェクト



主な活動内容

- ケーブルテレビ、教育委員会、学校現場と連携し、地域の教材コンテンツを作成する。
- ケーブルテレビと教育委員会、小中学校をつなぐシンポジウムを開催する。
- 学内外で活用可能な教材等を収集・整理・保存するとともに、必要に応じて制作する。

一般社団法人国立大学協会との共催で2024年度レジリエント社会・地域共創シンポジウム「地域社会と共に創る防災学習とまちづくり-レジリエント社会の実現を目指して-」を開催しました。



戦略8

IR部門・教職学協働プロジェクト



主な活動内容

- IR部門では、戦略的な大学運営を行うことができるよう、学内外の客観的なデータを可視化したファクトブックの作成などに取り組む。
- 教職学協働プロジェクトでは、教職学協働のFD/SD研修や各種イベントの企画・運営を行い、参加を促す。また、教育研究創成センター・FD開発部門の活動と連携した研究を行う。

FD・SD研修会「学修者本位の大学づくり-施設の利用方法の改善と学生・院生の居場所づくり-」を開催しました。学ぶ側(学生・大学院生)と供給する側(教職員)が互いの声を聴き合うことで相互理解を深め、「教・職・学」の協働・コミュニケーションを活発にし、より良い大学づくりにつなげることを目的としたもので、本学の学生・大学院生17人と教職員45人の計62人が参加しました。



その他戦略プロジェクト



戦略4

グローバル化推進プロジェクト

主な活動内容

- 海外協定校に赴き、研究者等の招待・派遣制度の整備について検討するとともに、海外の教育現場を視察することで教職員の国際理解研修を行う。
- 教職大学院に入学した教育委員会派遣、附属学校教員が海外研修できる制度を構築することを検討する。

戦略6

大学・附属学校園連携推進プロジェクト

主な活動内容

- 附属学校園に所属する研究主任クラスの教員と大学教員により構成されたプロジェクト・チームが主体となり、毎月1回、リモートで協議会を開催する。
- 附属学校園同士の交流や大学との共同研究によってモデル授業を開発し、研究会・研修会で還元する。

これからの活動にも期待してニャン♪

